

⑪-2授業改善推進プラン(中間改善計画)

2024年度 授業改善推進プラン(中間改善計画)

中118 町田市立小山中学校

学力調査等の状況	
<p>・全体的な正答率は、国語が全国平均と東京都の平均の中間、数学は全国平均とほぼ同じレベルという結果であった。</p> <p>&lt;問題別に傾向を見た場合&gt;</p> <p>・国語科・・・領域では読むことで3.5ポイント東京都の平均を下回ったが、書くことでは1.9ポイント東京都の平均を上回った。</p> <p>・数学科・・・領域では特に数と式について東京都および全国の平均を下回った。</p> <p>また、データの活用では東京都の平均は下回ったが、全国の平均より1.0ポイント上回った。</p>	

見えてきた課題	
<p>・国語科では漢字の書き取りにおいて、中学校入学後に学習した漢字に加えて、小学校で学習する漢字についても学習量の差がはっきり出ている。また、意見と根拠など、文章中に示されている情報を正確に読み取ることに課題がある生徒が多く見られる。数学科では、等式の変形や図形の移動など、基礎的な学習内容の定着に課題がある。そのため、それらを活用する文章問題や記述式の問題を苦手とする生徒が多く見られる。また、様々な教科において、ICTの活用とともに、書く機会が減ったことにより、書く力や語彙力等に課題がある生徒が増えている。</p> <p>・生徒質問紙調査の調査結果などから、ICTの活用について、情報を調べることに対しては有用性を感じている生徒の割合が多い反面、自分の考えや意見を分かりやすく伝えることについては値が低くなっており、ICTの活用方法の中でも、他者と考えを共有したり、分かりやすく伝えるための工夫について課題があることが分かった。</p>	

授業をデザインする8つの取組について	
見通しをもたせる導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が何を学ぶか、どのように学ぶか、何ができるようにするのか、単元や本時の見通しをもたせるように学習の流れや目標を明確に提示する。</li> <li>・生徒の興味・関心が高まるような課題の提示を工夫する。</li> </ul>
ICT機器の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一台端末を使用するにあたって、ただ使えるようになるだけでなく、正しく使えるように情報モラルや情報リテラシー能力の向上に向けて指導を行う。</li> </ul>
振り返りの設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が課題を解決するために試行錯誤したこと、身についた力やできるようになったことを振り返る場面を作り、定着を促す。</li> <li>・生徒の考えを全体に共有し、多様な考えを理解する。</li> <li>・生徒に自己評価をさせ、自身の言葉で成果を表現できるように指導する。</li> </ul>

各教科における課題を改善するための指導の重点

	年度当初に設定した重点	第1学年	第2学年	第3学年
国語科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ICT機器を効果的に使用し、学習の流れや視聴覚資料の提示による導入などを工夫、生徒の意見の聴取収集などを行い、学習意欲を引き出す。</li> <li>○語句や漢字の練習の時間を設け、言語知識の定着を図る。</li> <li>○単元ごとに学習内容や学習方法についての振り返りを継続して記入させ、生徒の授業に対する主体性を評価する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○導入にて、スライドや動画を活用して、生徒の興味をもたせる。</li> <li>○漢字・語句の小テストを繰り返し行い、言語知識の定着を図る。</li> <li>○タブレットを使い、考えの共有の可視化をスムーズに行うことで時間短縮を図るとともに、より多くの他者の考えに触れる機会をつくる。</li> <li>○各単元で振り返りを設定し、今までの学習記録を積み重ねる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本時の目標・流れを明示し、スライド資料などによる導入を行い、生徒の興味を引き出す。</li> <li>○意見や考察の共有を行うとともに、共有ツールとしてタブレット端末を用いることで効率化を図る。</li> <li>○各単元で振り返りを設定し、今までの学習記録を積み重ねる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○導入にて、スライドや動画を活用して、学習の目標や流れを明示する。</li> <li>○板書の時間を短縮することで、感想を話し合ったり、考察する時間を確保する。</li> <li>○意見や考察などはタブレットを用いて、共有または共同編集し、学習効果を高める。</li> <li>○各単元で振り返りを設定し、今までの学習記録を積み重ねる。</li> </ul>
社会科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○スライドやホワイトボードアプリを活用し、生徒の意見交流、発表などを効果的に行う。</li> <li>○単元を通して課題を設定し、それらを適切に評価する場を設ける。</li> <li>○目標を意識した振り返りを授業ごとに行い、生徒が見通しをもち、かつ、授業ごとのつながりを意識して授業に取り組めるようにする。</li> <li>○視覚教材を活用し、生徒の意欲を高め、理解を深めるよう授業を構成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○単元を貫いた発問を設定し、レポート課題を実施することで評価を行う。</li> <li>○ペア学習やグループ学習を取り入れ、対話的な学びを通して学習が深まるようにする。</li> <li>○視覚教材を活用し、生徒の意欲を高め、理解を深めるよう授業を構成する。</li> <li>○振り返りシートを単元の終わりに書かせることで、学習の定着を図る。</li> <li>○本時の目標を確認することで、授業の見通しがもてるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○調べた内容や話し合いのまとめの際にスライドやホワイトボードアプリを活用することで、生徒の意見交流、発表を活かすように行う。</li> <li>○単元を通して課題を設定し、単元ごとにまとめを行う、評価につなげる。</li> <li>○目標を意識した振り返りを授業ごとに行い、主体的な学びにつなげる。</li> <li>○動画や写真資料を活用し、生徒の理解を深める授業を構成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本時の目標・流れを明示し、スライド資料などによる導入を行い、生徒の興味を引き出す。</li> <li>○目標を意識した振り返りを授業ごとに行い、主体的な学びにつなげる。</li> <li>○動画や写真資料を活用し、生徒の理解を深める授業を構成する。</li> </ul>
数学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ICT機器やデジタル教科書を使用し、視覚的にわかりやすい授業を展開する。</li> <li>○基礎学力の定着を目指し、ワークやタブレット端末やドリルソフト、を活用した演習の時間を設ける。</li> <li>○授業に振り返りの時間を設け、生徒の取組や理解度をみとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎基本の定着を目指し、問題演習(特に計算練習)の時間を計画的に確保する。その際、ドリルソフトの活用を積極的に行うことで反復練習の機会を確保する。</li> <li>○図形や計算の過程をアニメーションや教師指導用デジタル教科書などを活用してわかりやすく生徒に提示し、理解を深められるようにする。</li> <li>○各授業時間で、生徒に振り返りの時間を確保することで、主体的に取り組もうとする意欲を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○プロジェクターを用いて実物等を見せるとともに、図形や計算の過程をアニメーションや描画アプリなどを活用してわかりやすく生徒に提示し、理解を深められるようにする。</li> <li>○基礎基本の定着を目指し、小テストや問題演習の時間を計画的に確保する。その際、問題集やドリルソフトの活用を積極的に行うことで反復練習の機会を確保する。</li> <li>○毎回の授業で、生徒に振り返りシートの記入を行わせることで、生徒の学習内容の理解度をみとめるとともに、主体的に取り組もうとする意欲を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○プロジェクターを用いて表やグラフ、アニメーションなどを見せ、視覚的にわかりやすいようにする。</li> <li>○演習の時間を十分に与える。副教材やドリルソフトなどを効果的に活用し、知識を定着させる。</li> <li>○定期テスト終了後に振り返りレポートに取り組みさせる。解き直しをさせ、理解が不十分な場所を復習させる。単元の振り返りをさせ、「できるようになったこと」「単元の自分の課題」「課題を克服するために何をどう勉強するか」を考えさせる。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ICT機器を効果的に使用し、実物等を見せることで導入などを工夫し、学習の見通しをもたせ、生徒の学習意欲を引き出す。</li> <li>○一人一台端末を使用し、実験に関する考察などを共有し、対話的な学習を効果的に行う。</li> <li>○実験・観察を多く取り入れ、事象に対する疑問を探索しながら解決する学習を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ICT機器を用いて写真や動画を提示することで、学習内容のイメージをもたせる指導をする。</li> <li>○授業の開始時に本時の流れを明示し、授業の見通しをもたせる。</li> <li>○実験後の考察をICT機器を用いて行い、生徒間で共有する。</li> <li>○単元ごとに振り返りを行い、生徒の主体性をみとめるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業の開始時に本時の流れを明示し、授業の見通しをもたせる。</li> <li>○ICT機器を用いて写真や動画を提示することで、学習内容のイメージをもたせる指導をする。</li> <li>○実験後の考察をICT機器を用いて行い、生徒間で共有するとともに、生徒のみの方で、現象の究明の言葉で表現できるようにする。</li> <li>○単元ごとに振り返りを行い、生徒の主体性をみとめるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ICT機器を用いて動画を視聴したり、シミュレーションなどを行い実験を通じて確認をするなどイメージを具体化する指導を行う。</li> <li>○意見の共有をICT機器を用いて行うことで、幅広い生徒の意見や考えを共有し学ぶことのできる学習を行う。</li> <li>○単元ごとの振り返りを行うことで、主体性をみとめるとともに自身の学習への取組を見直し調整する機会とする。</li> </ul>
外国語科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業開始時に本時の目標や授業の流れを提示することで、授業に対する意欲を高めるようにする。</li> <li>○生徒の興味・関心を高めるような教材を工夫し、授業環境を充実させるために、プロジェクターの導入による電子教科書の活用などを進めていく。</li> <li>○ペアでの会話やスピーチなどの活動を通して、会話する力を高めるとともに、お互いを認め合い高め合う意識を育てるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業開始時に本時の目標や授業の流れを提示することで、授業への見通しをもたせる。</li> <li>○プロジェクターなどの使用することによって、生徒が視覚から理解できるような工夫をする。</li> <li>○ペアでの会話やスピーチなどの活動を通して、スピーキング力を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業の最初に本時の目標や授業の流れを提示し、意欲的に授業に取り組めるように工夫する。</li> <li>○デジタル教材やICTの積極的な活用により、生徒の興味・関心を高めるような教材や発問を工夫していく。</li> <li>○基礎基本の定着を図るために、家庭学習を徹底させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業の始めに授業のねらいと流れを示して、生徒に授業のゴールが見えやすい工夫をする。</li> <li>○デジタル教材を積極的に活用し、ICT教材を多く用いることで、生徒の意欲を高め、理解を深める工夫をする。</li> <li>○ペア学習や発表活動、ALTIによるSpeaking Test等を通して、コミュニケーションの力を高めるようにする。</li> </ul>

⑪-2授業改善推進プラン(中間改善計画)

2024年度 授業改善推進プラン(中間改善計画)

各教科における課題を改善するための指導の重点				
	年度当初に設定した重点	第1学年	第2学年	第3学年
音楽科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○歌唱の授業では、生徒の集中力や取組に向かう姿勢を維持するために見直しをもたせた授業を行い、歌を積極的に歌えるようにする。</li> <li>○さまざまな音楽活動においてICTを積極的に活用し、生徒の興味関心を幅広く引き出す工夫をする。</li> <li>○毎時間振り返りシートを記入させ、学んだことや感じたことを整理させ喜びが深まるようにする。</li> <li>○グループ活動や実践における教え合い、発表等を積極的に取り入れ技能を高め合えるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業の始まりに50分間の授業内容と時間配分を説明するとともに、前のホワイトボードにも同じことを書いておく。目と耳から情報を入れて、より分かりやすくする。</li> <li>○言葉だけでは伝わりにくいことをICTを活用してより伝わる授業を心がける。1年生は言葉だけでは通じていないことが多いので絵や図などを活用していく。</li> <li>○50分間の自分を振り返り、授業の復習と自分の取り組み方を見直し次に繋げる時間を作る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○歌唱では、曲の構成を分析し、各パートの役割を知り、表現を自ら工夫する習慣を身に付ける指導を心がける。また、具体的なイメージをもって歌唱表現するようにして、積極性を育てていくことを継続する。</li> <li>○特に鑑賞でICTを積極的に活用し興味関心を引き出す工夫を心がける。</li> <li>○毎時間、振り返りシートを用いた効果的な活用を継続していく。</li> <li>○歌唱のパート練習では、互いに高めあう場面が多く見られたが、グループ活動や実践の教え合い、発表等の時間をつくる。</li> <li>○器楽ではリコーダー演奏をICTを活用して学び、より美しい音色で歌うような表現を目指す。試験方法についても、ICTを活用して工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業の始まりに50分間の授業内容と時間配分を説明する。3年生になると、授業に取り組む姿勢は問題ない生徒が多いので、より興味をもって活発的に取り組めるよう、授業によって導入を工夫する。</li> <li>○ICTを活用してより伝わる授業を心がける。</li> <li>○50分間の自分を振り返り、授業の復習と自分に足りないところを発見し、実技テストや定期考査に活かしているような見直しの時間を設ける。</li> </ul>
美術科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒の興味関心を高めるため、各学年ともに題材の内容やアプローチを順次新しいものに変えていく。</li> <li>○ICT機器等を活用し、生徒が見直しをもって学習に集中できる環境を整える。</li> <li>○鑑賞の時間では隣同士やグループで意見交換ができるようにワークシートなどを工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ICTと板書を併用し、生徒が常に作品の作業過程を写真で確認できるようにし、単元の作品制作について、完成までの見直しをもたせ、基本的な作業方法や知識を身に付けさせる。</li> <li>○導入用のプレゼンテーションとワークシートの内容を見直し、学習に集中できる構成に改善する。</li> <li>○鑑賞の時間では隣同士やグループで意見交換ができるようにしたワークシートを活用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ICTと板書を併用し、生徒が常に作品の作業過程を写真で確認できるようにし、単元の作品制作について、完成までの見直しをもたせ、今までの経験や知識をもとに効率よく作業を進められるようにする。</li> <li>○導入用のプレゼンテーションとワークシートの内容を見直し、学習に集中できる構成に改善する。</li> <li>○鑑賞の時間では隣同士やグループで意見交換ができるようにしたワークシートを活用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ICTと板書を併用し、生徒が常に作品の作業過程を写真で確認できるようにし、単元の作品制作について、完成までの見直しをもたせ、今までの経験や知識を生かし、自ら考え、計画し、作業を進め、やり遂げられるようにする。</li> <li>○導入用のプレゼンテーションとワークシートの内容を見直し、学習に集中できる構成に改善する。</li> <li>○鑑賞の時間では隣同士やグループで意見交換ができるようにしたワークシートを活用する。</li> </ul>
保健体育科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業の始めに本時の目標や授業の流れを提示し、生徒が見直しをもって授業に取り組むことができるようにする。</li> <li>○説明時に図やICT機器を用いることや、模範を見せることにより、聴覚と視覚の両方からアプローチし、さらに理解を深めるようにする。</li> <li>○グループ活動や生徒による模範演技を取り入れ、良い点と改善すべき点を観察し、教え合うことで互いを認め合い、技能を高め合うことができるようにする。またICT機器も活用し、お互いの活動の様子を撮影し学び合いが行えるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本時の目標と授業の流れを説明し、見直しをもたせて取り組ませる。</li> <li>○室内での体育や保健の授業では、ICTを積極的に活用し、視覚的な理解を促し生徒の理解を深めるようにする。</li> <li>○グループ活動を通して、生徒同士で技能のポイント、作戦などを教え合えるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業の始めに本時の目標や授業の流れを説明し、見直しをもって授業に取り組ませる。</li> <li>○ホワイトボードや模範や図解、又使用が可能な場所においてICTを活用し、視覚的な理解を促し生徒の理解を深めるようにする。</li> <li>○グループ活動を通して、技能のポイントや作戦会議などの学び合いができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業の始めに見学者への指示をした上で、本時の目標と授業の流れを説明する。</li> <li>○詳細内容を説明し、生徒同士がよく考え、発言しながら授業を進められるように指導する。</li> <li>○室内での体育や保健の授業では、ICTを積極的に活用し、生徒の理解を深めるようにする。</li> <li>○グループ活動を通して、生徒同士で教え合えるようにする。</li> </ul>
技術・家庭科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業開始時や単元の冒頭に本時の目標や授業の流れを提示することで、具体的に何を学ぶのかを理解させてから学習を開始する。</li> <li>○単元ごとに深い学びにつながるよう工夫した指導をする。</li> <li>○作業の中で対話的な時間を増やし協同的な学びの時間を取り入れて指導する。</li> <li>○作業の時間を多く取るために視聴覚・ICT機器等を利用し、明瞭かつ簡潔に作業の説明や知識的な部分の解説ができるよう工夫する。</li> <li>○各授業で振り返りシートを記入させ、より実践に結び付けるよう主体性をみとる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○導入時にICT機器を活用し、実物や写真、デジタル教科書などを見せることで生徒の関心を引き出すとともに、理解をしやすくする。</li> <li>○授業の開始時に本時の目標を明示し、授業の見直しをもたせる。</li> <li>○実験後の考察など、生徒間の意見の共有をタブレットを用いて行う。</li> <li>○各授業の終わりと単元ごとに振り返りを行うことで深い学びになるようにしながら、記入内容で主体性を評価する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒にプレゼンテーションソフトを用いて、調べたことをまとめさせることで、課題を発見し自ら表現する能力を高める。また、クラスや学年で自分の調べたことを発表する機会を設けることで、相手にわかりやすく伝える力を向上させる。</li> <li>○授業後に振り返りシートを活用し具体的に記述することで知識や技能の定着と活用しようとする態度を育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習の最初の時間ではガイダンスを行い、今後の流れや目標を提示することで、見直しをもって取り組むことができるようにする。</li> <li>○生徒にプレゼンテーションソフトやアンケートを用いて、調べたことをまとめさせることで、課題を発見し、自ら表現する能力を高める。また、クラスや学年で自分の調べたことを発表する機会を設けることで、相手にわかりやすく伝える力を向上させる。</li> </ul>
総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各教科、道徳及び特別活動で身に付けた知識や技能等を相互に関連付け、それらを総合的に働かせる能力や態度を養う。</li> <li>○地域や社会の様々な人、もの、ことに関わる探究的な学習を通して、課題を発見するとともに、ICT機器を活用しながら自ら探究し、表現できる能力を身に付けさせる。</li> <li>○地域や社会の様々な人、もの、ことに関わる探究的な学習に主体的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、自ら社会に参画しようとする態度を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○取組を始める前に、今後の流れや目標を提示することで、見直しをもって学習へ取り組むことができるようにする。</li> <li>○生徒にプレゼンテーションソフトを使用させ、調べたことをまとめさせることで、課題を発見し、自ら表現する能力を高める。また、クラスや学年で自分の調べたことを発表する機会を設けることで、相手にわかりやすく伝える力を向上させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○取組を始める前に、今後の流れや目標を提示することで、見直しをもって学習へ取り組むことができるようにする。</li> <li>○生徒にプレゼンテーションソフトを使用させ、調べたことをまとめさせることで、課題を発見し、自ら表現する能力を高める。また、クラスや学年で自分の調べたことを発表する機会を設けることで、相手にわかりやすく伝える力を向上させる。</li> <li>○キャリア教育を行う際、地域の方や企業の方から直接話をいただく機会を設けることで、課題を身近なものとして捉え、主体的に取り組む力を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○取組を始める前に、今後の流れや目標を提示することで、見直しをもって学習へ取り組むことができるようにする。</li> <li>○生徒にプレゼンテーションソフトを使用させ、調べたことをまとめさせることで、課題を発見し、自ら表現する能力を高める。また、クラスや学年で自分の調べたことを発表する機会を設けることで、相手にわかりやすく伝える力を向上させる。</li> </ul>
特別の教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;第1学年&gt; 中学生としての自覚をもち、望ましい生活習慣を確立する。</li> <li>&lt;第2学年&gt; 集団生活での役割・規範意識を高め、責任感と公共心、自主的な態度と向上心を養う。</li> <li>&lt;第3学年&gt; 生命の尊さを理解し、克己心をもつて自己を尊びながら、理想の実現を目指して未来を切り拓いていく力を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○毎時間振り返り記録を記入し、その授業で気づいたことや学んだことを振り返ることで、主体的に取り組む力を高める。</li> <li>○さまざまな考えを共有し、知ることで、自己理解するとともに、他者を理解する気持ちを育みながら、進路実現に向けて自分で未来を切り拓く力を向上させる。</li> <li>○プロジェクターを用いて映像や画像を全体で共有することで、課題への理解を深め、意欲の向上に繋げる。また、タブレットを用いることで、互いの意見を効率的に共有できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○毎時間振り返り記録を記入し、その授業で気づいたことや学んだことを振り返ることで、主体的に取り組む力を高める。</li> <li>○対話的な取組を通して、さまざまな考えを共有し、知ることで、自己理解するとともに、他者を理解する気持ちを育みながら、進路実現に向けて自分で未来を切り拓く力を向上させる。</li> <li>○プロジェクターを用いて映像や画像を全体で共有することで、課題への理解を深め、意欲の向上に繋げる。また、タブレットを用いることで、互いの意見を効率的に共有できるようにする。</li> <li>○身近なテーマを選び、自らの生活に照らし合わせながら、振り返り、自主的に改善する態度や向上心を養う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自己をより良く見つめ、道徳心を高められるように、「どう思うか」「なぜそう思うか」といった発問を行うとともに、自分の考えを客観的に捉えられるワークシートを準備する。</li> <li>○物事を広い視野から多面的・多角的に考えられるように、学習支援システムを活用しながら、意見交換の場面を設定する。</li> <li>○人間としての生き方についての考えを深められるように、毎時間振り返り記録を記入するとともに、理想の実現を目指してどのように社会と関わっていくのか記述する時間を設定する。</li> </ul>
道徳				

⑪-2授業改善推進プラン(中間改善計画)

2024年度 授業改善推進プラン(中間改善計画)

各教科における課題を改善するための指導の重点				
	年度当初に設定した重点	第1学年	第2学年	第3学年
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○環境美化活動やボランティア活動などの体験的活動を通して自ら実践する態度と奉仕的精神を育てる。</li> <li>○一人一人が意欲的に実践する生徒会活動の充実を図り、生徒の自治的な能力を高める。</li> <li>○開かれた学校づくりを推進するため、地域の特性を生かした体験活動として、地域との連携を強め、学校支援ボランティアの協力を得た放課後学習や奉仕的活動を充実させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学級や学校での生活をよりよくするための課題を見出し、学級や専門委員会において課題解決のために話し合い、自主的、実践的に取り組むことを通して、集団の中での行動の仕方を身に付けさせる。</li> <li>○一人一人の意見を認め合い、共有をすることで、自己肯定感や他者理解をはぐくみ、人間関係の形成を充実させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学級や学校での生活をよりよくするための課題を見出し、学級や専門委員会において課題解決のために話し合い、自主的、実践的に取り組むことを通して、集団の中での行動の仕方を身に付けさせる。</li> <li>○生徒の意見を集約したり、共有したりする場面で、アンケート作成ソフトを活用し、学級活動や生徒会活動の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒が主体となって学級や学校の課題を見つけ、合意形成の方法を学習しながら課題を解決する能力を身に付けさせる。</li> <li>○生徒の意見を積極的に集めたり、課題を解決したりするためにアンケート作成ソフトやホワイトボードアプリなどのICTを活用する。</li> </ul>